

さくら

2023



社会福祉法人 さくら福祉会

理事長 佐藤 正視

日頃より、さくら福祉会をご利用頂きました、誠に有難うございます。行政はじめ、地域の皆様、お取引先様には、格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

毎年、敬老の日のある9月には、100歳以上の高齢者数が発表されます。令和5年の今年は、全国で9万2139人でした。昨年から1613人増え、53年連続で増加しています。100歳以上の高齢者は、調査を始めた昭和38年には153人、昭和56年には千人を超えた。平成10年には1万人を超えるました。5年後には、10万人を超える可能性もあります。

県内の100歳以上の高齢者数は、過去最高で1042人。山形市では214人（男性25人、女性189人）、酒田市では85人（男性5人、女性80人）です。県では、10年前の545人から倍増している数字だそうです。理由として、医療の進歩が大きく、介護施設の充実が背景になります。

さくら福祉会は、高齢者がゆったりと、安心して生活できるよう、地域の皆様に愛され信頼される福祉を目指してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

特別養護老人ホーム

さくらホーム山形



いつもさくらホーム山形の業務運営に特段のご支援、ご協力を頂き感謝申し上げます。

今年は異常気象に戸惑つて居る方も多いと思います。今冬の大雪の雪解けと間を置かず春を飛び越して夏の様な陽気、9月の残暑は従来の盛夏を上回る猛暑を記録しました。

2019年暮れの中国発コロナウイルス流行が第九波を経て、今尚終息の兆しが見えません。インフルエンザと同時に十波も心配されております。感染症法上の扱いは「5類」に変更されましたが、感染力は強く油断できません。ご利用者様、ご家族様には不自由な思いをお願いし、貴重な時間を無にすることになり大変申し訳ありません。当施設でも、複数回、複数名の罹患者が発生しましたが、お陰様でクラスターや犠牲者を

出すことなく鎮静しました。

少子高齢化の問題も深刻です。必然的に労働力不足も社会的問題になってしまいます。更に労働時間の上限規制もあり、介護業界の職員不足解決は喫緊の課題です。当法人も現状を打開すべく外国人を採用しております。当施設にも6名のベトナム国籍の職員が配属されており、仕事に対するひたむきな姿勢はご利用者様の共感を得て好評です。協力してより良い介護サービスを実現していきます。

今後とも何かと制約の多い中ですが、ご利用者様に家庭のような温もりを感じながら生活して頂けるよう、職員一同努めていきます。ご家族の皆様におかれましてもご健勝で日々のご多幸を祈念申し上げます。



介護予防センター

さくら山形

皆様には、日頃より当事業所の運営に関し、ご支援ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

ご利用者様には、マスクの着用や換気の徹底など、引き続き感染予防対策のお願いをしているところではあります。が、コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に変わり、様々な制限が緩和されました。当事業所においても、コロナ禍の為に中止としていた外出レクリエーションを再開することができました。まだ

月に1～2回程度の実施ではありますが、「久しぶりにドライブ出来て良かった。」などのお声を頂いております。今後もご利用者様に喜んで頂けるよう、職員一同努めています。ご家族の皆様におかれましてもご健勝で日々のご多幸を祈念申し上げます。

また、9月は毎年恒例となりました、「敬老の日」前後の一週間を『敬老WEEK』と題してイベントを行いました。敬老の日は、「多年にわたり社会につくってきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを目的として、昭和41年に祝日法として制定されたのです。皆様に日頃の感謝を込めて、職員より催し物を披露させて頂きました。ご利用者様から楽しかったという声が聞かれ、職員一同ひと安心しているところです。

今後も、介護予防センターさくら山形のご利用を楽しみにして頂けるよう、職員一同努めていきたいと思います。変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム

さくらホーム広野

皆様には、日頃より施設運営に關し、ご支援ご協力を賜り大変感謝を申し上げます。

「5類」へ移行した新型コロナワイルス感染症につきまして、感染予防対策を行っている中、7月と9月には、コロナウイルス感染症が発生し、ご利用者様、ご家族様、関係機関の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしました。面会についても制限したり再開したりを繰り返し、ご不便をおかけしておりましたが、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。

今年度も人材確保という観点から、ミャンマーからの特定技能実習生4名の受け入れを行っています。日本語、生活様式、文化の違いに戸惑いながらも、日々の介護現場で頑張っているところです。

7月は、七夕飾りの前で、願いごとが叶うようにとお祈りをしているご利用者様もいらっしゃいました。

9月の敬老会には、寿賀対象の米寿2名、白寿3名、満百歳1名へ、寿賀贈呈と記念撮影を行いました。贈呈の際には、同じユニットのご利用者様からお祝いの拍手があり、大変喜んでおられました。

また、介護技術の向上と皮膚トラブル予防のため、おむつの勉強会を改めて行いました。ご利用者様に不快なく過ごして頂けるよう、業者様のご指導のもと、おむつの当て方の講義と吸収率の実験を行い、質の良いパットやおむつを選ぶ重要性を学ぶ事ができました。

今後も、ご利用者様が笑顔で楽しく安心して生活が送れるように、支援していきます。



介護予防センター

さくら広野

日頃、事業所の運営にあたり皆様よりご理解を賜り誠にありがとうございます。近年類を見ないような酷暑をなんとか乗り切り、ようやく心地よい秋風が感じられる季節となりました。ご利用者様の「おはよう、今日もきたよ！」の挨拶に日々元気をもらいながら、今日も職員一同、明るく皆様をお迎えしています。

さて、今年度に入り段階的であります。ながらも、ようやく従来の季節行事が実施できるようになりました。例えば酒田祭りのお囃子見物もそのひとつです。コロナ禍のため中断していましたが、今年は実に三年振りに酒田囃子山車が来訪することとなりました。笛太鼓の音色が徐々に近づくにつれて「今信号曲がった！こっちは手振ったよ！」「お囃子聞くと昔友達と一緒に

遊び行たな、思い出すの。」等など、俄然ご利用者様も気持ちも盛り上がり始めたようで、山車の到着と同時に盛大な拍手でのお出迎えとなりました。その後改めてお囃子の披露となりましたが、生演奏は実に迫力があり太鼓の振動がずしりと響きます。手拍子を合わせたり、隣り同士昔話を語り合ったりと、皆様思い思いに楽しめたようでした。このような貴重な機会を提供して下さった酒田中央ロータリークラブの皆様には、心より御礼申し上げます。

今後は状況を注視しながら、中断していたボランティア受入や、外出行事なども再開できればと考えております。毎月の行事予定をご覧のうえ、振るつてのご参加をお待ちしております。



特別養護老人ホーム

さくらホーム



皆様には、日頃よりさくらホームの運営につきまして、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

今年の夏の暑さは、例年より猛暑日が長く続き、いつも以上に厳しい夏となりました。ようやく暑さも和らぎ落ち着いてきた今日この頃です。また、落ち着いたのは暑さだけではなく、新型コロナウイルス感染症についても、昨年辺りから比べればかなり減少したと言えます。しかし、これから時期、インフルエンザとの同時感染等も懸念されるため、引き続き感染症予防の徹底は重要となつてきます。5月より新型コロナウイルス感染症が「5類」に変更となつたこともあり、短時間ですがご家族との面会もできるようになります。ご家族様が面会に来られると、ご利用者様からはいつも以上の笑顔が見られます。ご利用者様にとつては、



楽しい行事や美味しいご飯よりも、ご家族様の面会が何よりの活力源になっている事を強く感じる場面です。職員もご利用者様の笑顔を引き出すため、いろいろな工夫を行っています。その一つが規模を縮小して開催した行事です。七夕や夏祭り、敬老会等の様子を写真にてご紹介させて頂きます。

施設としては、今後もまだまだ油断できない状況が続くと思いますが、ご利用者様の安全を第一に努め、ご利用者様と共に私たち職員も笑顔で働けるよう、日々努力を重ねていきたいと思います。現在外国人職員も増えていますが、方言や日本の文化等に戸惑いながらも、一生懸命励んでおります。より良いサービスを提供できるよう、職員一同努めていきますので、よろしくお願ひいたします。

さくらホーム天童



皆様にはさくらホーム天童に対しまして、常日頃より大変なご支援、ご協力を頂いております事に心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、面会方法をオンラインにてご案内しておりました。今年5月に「5類」へ移行するに伴い、十分な感染予防対策を徹底した上で限られた時間ではございますが、対面での面会を再開する事ができました。ご利用者様もご家族様をより間近で感じる事ができ、嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。中にはご家族様を見るなり、涙を浮かべておられるご利用者様も見受けられました。

敬老会では、賀寿表彰・花束を贈呈させて頂きました。今年は、百歳を超えるご長寿が2名、百寿の方が1名、白寿の方が6名、米寿の方が4名、喜びます。寿ぐ傘寿の方が7名いらっしゃいました。また、今回はご家族様にもご参加頂き、大変喜ばしい時間となつたのではないかと思います。たくさんの方々と一緒に、季節性のインフルエンザや食中毒等にも十二分に注意しながら、ご利用者様の安心安全を第一に、職員一同より気を引き締めて対応させて頂きます。今後もご利用者様が自分らしく充実した日々を過ごしていくよう、職員一人一人がご利用者様に寄り添い、更なるサービスの向上へ繋げていけるよう努めていきたいと思います。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



通所介護事業所の紹介

介護予防センター

さくら

酒田市山居町



皆様には、施設の運営に日頃より多大なるご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

介護予防センターさくらでは、毎月たくさん行事やイベントを開催しています。庄内地方の有名な弁当や和菓子、洋菓子等をお取り寄せする企画を複数回開催しており、ご利用者様からは大変ご好評を頂いております。

また、理学療法士が2名配置されており、個別リハビリテーション、マッサージに特に力を入れています。さらにご利用者様から大人気なのが「歩行トレーニングロボット」です。最新のリハビリテーション機器を導入しました。是非とも、当施設をご利用の際には、使用してみて下さい。また、家ではなかなか飲む機会の少ない、どくだみ茶、ごぼう茶、黒豆茶、そば茶、桑の葉茶、杜仲茶、トウモロコシ茶など健康茶が飲み放題!!職員一同ご利用をお待ちしております。

さくら東泉

酒田市東泉町



日頃より、ご利用者様をはじめ、ご家族様、地域の皆様、関係機関の皆様には、温かいご支援とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に変わり、様々な制限が緩和され、以前の社会へと戻りつつあります。介護予防センターさくら東泉でも、今年度より外出レクリエーションを再開しております。現在は月に1～2回の実施ではありますが、数年ぶりの外出レクリエーションということもあり、ご利用者様からは大変ご好評を頂いております。今後は、外出レクリエーションを増やしていくと共に、その他のレクリエーションにおいても、コロナ禍前のようにご利用者様に楽しんで頂けるレクリエーションを行っていきたいと思います。

今後も、職員一同感染予防対策に努め、安心して過ごして頂けるように努力していきます。これからも宜しくお願いいたします。

さくらの里

酒田市字山田(旧松山町)

日頃より、施設の運営に関し皆様にはご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

3年前からコロナウイルスの影響で、レクリエーションやボランティア企画を制限しており、「いつになつたら、出来る?」そんな声が皆様より聞かれました。まだマスクを外せるような状況ではありませんが、まずは外食やドライブ、「デザートのお取り寄せ」等を行っています。考えている企画は他にもありますので、是非楽しみにお待ち下さい。

介護予防センターさくらの里は、開所から14年を迎えました。実は、開所時から続けて通われている方が、なんと13人もいらっしゃいます。先日行われた敬老会では、ご自分の年齢の事よりも嬉しそうにおっしゃった方がいました。私達職員からしても自慢のご利用者様です。14年15年と言わず、20年、30年とこれからも元気に通つて頂けるよう、職員一同頑張っていきたいと思います。



令和4年度 社会福祉法人 さくら福祉会 決算書

資金収支計算書 (単位:千円)		(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日
勘定科目	金額	
事業活動収入計	4,216,414	
事業活動支出計	3,825,756	
事業活動資金収支差額	390,657	
施設整備等収入計	27,200	
施設整備等支出計	304,986	
施設整備等資金収支差額	△277,786	
その他の活動収入計	17,723	
その他の活動支出計	134,576	
その他の活動資金収支差額	△116,852	
当期資金収支差額合計	△3,980	
前期末支払資金残高	1,311,084	
当期末支払資金残高	1,307,103	

事業活動計算書 (単位:千円)		(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日
勘定科目	金額	
サービス活動収益計	4,187,824	
サービス活動費用計	4,073,535	
サービス活動増減差額	114,289	
サービス活動外収益計	31,061	
サービス活動外費用計	39,944	
サービス活動外増減差額	△8,883	
経常増減差額	105,406	
特別収益計	22,033	
特別費用計	15,499	
特別増減差額	6,534	
当期活動増減差額	111,940	
前期繰越活動増減差額	3,356,956	
当期末繰越活動増減差額	3,468,897	
次期繰越活動増減差額	3,468,897	

貸借対照表 (令和5年3月31日現在)		(単位:千円)
資産の部	負債の部	
流動資産	1,608,809	流動負債
固定資産	5,744,028	固定負債
基本財産	4,926,870	負債の部合計
その他の固定資産	817,157	純資産の部
		基本金
		国庫補助金等特別積立金
		その他の積立金
		次期繰越活動増減差額
		純資産の部合計
	7,352,837	負債及び純資産の部合計

スタッフからの情報発信

三浦 祐樹
介護予防センター
機能訓練指導員



令和4年4月より介護予防センターさくら広野に勤務しています。午前中は機能訓練業務、午後は体力測定を実施し、それを基に機能訓練計画書を作成します。朝夕の送り迎えも行います。当事業所では、パワーリハビリテーションを行っており、ご利用者様一人ひとりに合った負荷を設定し、その日の体調を確認しながら、上下肢・体幹のための6種類の運動をして頂き、3ヶ月に1回の体力測定で目標に応じた評価を行います。

ご利用者様より「ティサークルスに来て運動すると体の調子が良くなり、通うのが楽しみだ。」などの言葉を頂いた時はとてもやりがいを感じ、力をもらうことがあります。これからもご利用者様の生活の質、日常生活動作の向上、そして何よりもご利用者様の笑顔のために、日々精進していきます。



あとがき

広報さくら秋号をご覧頂きありがとうございます。
新型コロナウイルスが「5類」感染症と位置づけられてからも、依然としてさまざまな感染症が流行しております。引き続き感染対策に努めながら、ご利用者様の安心・安全を第一に考え取り組んでいきます。
当法人へのご意見やご要望等がございましたら、お気軽に申し付けください。

さくらレシピ

きのこたっぷり『吹き寄せご飯』

「吹き寄せ」とは、秋の色づいた木の葉が風に吹かれて一つにまとまつた様子を表しています。それを見てた具材たっぷりの吹き込みご飯を紹介します。

きのこ類に豊富なビタミンDはカルシウムの吸収を促進し丈夫な骨を作ります。きのこ類とごぼう、高野豆腐は食物繊維を多く含み、腸内細菌の働きを助けたり、血糖上昇を抑え、血中コレステロール濃度を低下させる働きもあります。

今回は焼鮭と高野豆腐で、たんぱく質もアップさせています。

どうぞ秋の味覚をご賞味下さい。

◆作り方◆

- ① 米は研いでざるに上げ、30分程水気を切っておく。
- ② しめじとまいたけは適度にほぐし、ごぼうはささがきにして水にさらす。人参はいちょう切りにする。
- ③ 鮭は焼いて、一口大にカットする。
- ④ 鍋に②とカット高野豆腐、★の調味料を入れ5分程煮る。
- ⑤ 炊飯器に①と④の煮汁、3合分の目盛りになるよう水を追加し、その上に④の具材を乗せて炊飯する。
- ⑥ 炊き上がった器に盛り付け、焼鮭を乗せて出来上がり。



社会福祉法人 さくら福祉会

〒999-6851 山形県酒田市中牧田字丸福171番地 TEL.0234-62-2941 FAX.0234-61-4016
<http://www.sakura-welfare.jp/> E-mail@sakurahome-soudan@sakura-welfare.jp



発行日／令和5年10月20日